

11人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 五嶋義行「阿蘇世界文化遺産登録に向けて」…P14
- 2 園田浩文「ふるさと応援寄附金の使途を明確にし、阿蘇市らしい独自の政策を」…P15
- 3 田中則次「河川（砂防指定地）の管理について問う」…P15
- 4 市原 正「防犯カメラの設置状況は」…P16
- 5 谷崎利浩「冬を前に坊中温泉「夢の湯」の再開を」…P16
- 6 古澤國義「東部地域の振興は！」…P17
- 7 井手明廣「県道及び市道の早期完成に向けて」…P17
- 8 大倉幸也「市立体育館の駐車場確保は？」…P18
- 9 森元秀一「児童生徒の学習環境の改善に向けて」…P18
- 10 河崎徳雄「生涯、安心して暮らすための少子高齢化対策を」…P19
- 11 竹原祐一「子どもの貧困化対策は」…P19

阿蘇世界文化遺産登録に向けて



五嶋 義行

五嶋 阿蘇世界文化遺産の重要な構成要素である阿蘇の草原。その維持のために必要と思われる草原特区2期目の状況は。

荒木まちづくり課長 本年4月1日付けで2期目の認定を受けています。前期の実績として、輪地切り、輪地焼き等の作業の負担軽減を図るために関係機関との協議を行いました。

五嶋 以前、シンブルな野焼きを目的するための対策として、保安林の規制緩和を図り、その後、保安林を更し保安林を防火帯として活用する等の答弁があったが。

佐伯農政課長 これまで野焼きに影響がある保安林の取り扱いについては、特区指定の中で関係省庁と規制の特例や緩和について協議を行っています。耐火性樹種に変更し野焼き作業の軽減策を現在進めていくことを検討しています。

火口見学について

五嶋 阿蘇観光の1番の目玉である火口見学。頻繁に発令されるガス

規制のために安定した観光が出来ない。何かアイデアは。

秦観光課長 9月15日からの3連休は、16日は曇りでしたが阿蘇山公園道路を利用した車両は約1,500台で、最終日は晴天に恵まれ、さらに多くの来訪者を期待していましたが、火山ガスのために火口をのぞくことが出来ませんでした。このように火口見学は人気がありますが、規制に大きく影響されますので、ガス対策は大きな課題としています。

現在、高性能のガス検知器が設置され、阿蘇火山防災会議協議会により安全性が確保されています。これらを遵守し、より安定した火口見学ができないか、関係機関と協議を重ねて参ります。



阿蘇火口

ふるさと応援寄附金の使途を明確にし、阿蘇市らしい独自の政策を



園田 浩文

園田 現在までの応援寄附金の額と件数は。

荒木まちづくり課長 8月末までの総額が5,240万円で、件数は2,038件です。

園田 他の自治体では、寄附金の使途を明確にしたふるさと納税、ガバメントクラウドファンディングとして活用しているところもある。阿蘇市も同様の取り組みを検討しては。

まちづくり課長 応援したい自治体に寄附を行うものと、自治体の寄付金の使い道に賛同し寄附をされる方法の2種類があります。今後は寄附金の効率的な活用方法等、関係各課と十分な協議を進めて参ります。

園田 阿蘇市のイメージアップに繋げたい応援寄附金。現段階での運用について市長の考えは。

佐藤市長 近年のふるさと納税は、寄附者に対してお送りする返礼品の方が重要視されているように思われ、当初の目的を逸脱しているのではないかと感じています。今後は、子育て政策を主に、医療、福祉、観光等の関係機関などと一体となり阿蘇市らしい運用を見出し、そ

れらにスピード感をもって進めることが必要であると考えています。

救急搬送の現状と医療センターとの連携について

園田 救急患者の受け入れ体制の内容は。

井野医療センター事務局長 患者様の搬送先の決定については、先ずは、本人及びご家族様のご意思、次に救急救命士の意見を踏まえ、最終的に医療センタードクターが判断するという体制をとっています。

他に「保育園児・幼稚園児の保育料の無償化制度について」等の質問がありました。

※ガバメントクラウドファンディング：自治体が寄附金の「使い道」をより具体的に提示し、その内容に共感した方々から寄附を募る仕組み。



草千里

河川(砂防指定地)の管理について問う



田中 則次

田中 砂防指定地は市内に相当数存在すると思うが、それも人家連担地区で、また、その下流域にも人家が点在するような状況にある。県の河川であつても砂防指定地は市が管理する。それで間違いないか。

中本建設課長 市内には砂防指定地が146箇所あり、堰堤、ブロック積施設は県が管理し、施設の無い箇所は護岸、河床の浚渫等は市が維持管理することになっています。

田中 その中で豪雨等により非常に危険な箇所がある。平成24年の水害後、また、近年、頻繁に発生する異常気象等を踏まえ、市長の諸般の報告に「更なる防災、減災に努める。」とあった。一つ具体例を挙げると仙酔峡道路の古神橋から上流は県により護岸等の整備が進められている。継続的工事を県に要望していただきたい。そして、現状も雑木、竹等が繁殖し豪雨の度に上下流とも災害の危機に見まわれており、伐木、伐竹を定期的に出来ないか。

建設課長

東岳川は重要河川であ

り、河川全体の浚渫、維持管理計画を立て定期的に整備を進めたいと考えています。

田中 市内には同等の河川があると思われ、そのような箇所について、公助に頼るところもあると思われ、更に状況を把握してその辺りの防災対策の予算化は可能か。

佐藤市長 平成24年、2回にわたる水害により、阿蘇警察署が移転せざるを得ないような事態も起こっています。同時に黒川流域に関する協議会もあります。そのような会議を活用する等し、様々な提案を行い積極的な予算確保に努めたいと考えています。

※浚渫：水底をさらって土砂などを取り除くこと



古神橋上流 (東岳川)

防犯カメラの設置状況は



市原 正

市原 今定例会に市内小中学校に児童生徒を守る防犯カメラの設置の補正予算が提出され、今議会で可決したが、このことについて再確認の意味で質問する。これまでの設置状況は。

市原教育部長 現在、阿蘇中学校の第2グラウンド、一の宮中学校の玄関及びグラウンドに設置しています。

市原 それ以外の校舎等への設置はないのか。

教育部長 その3箇所以外の設置はありません。

市原 今後の設置計画は。

教育部長 全体で40箇所、学校ごとの規模に応じて4から6箇所の設置を考えています。

市原 今回の防犯カメラの設置

は、児童生徒の安全や防犯面から非常に大切なことと認識している、是非、早期の設置を求めたいが。

教育部長 本議会で可決頂きましたので、早速設計の事務手続きに取り掛かり、順次設置を考えています。また、学校長会や警察、総務課等とも連携していますので、今後とも協議を進め安心安全に向けた事業を進めます。なお、設置完了は来年2月を目指したいと考えています

他に「阿蘇市畜産環境保全に関する条例について」、「畜産クラスター事業について」等の質問がありました。



防犯カメラ (イメージ)

冬を前に坊中温泉「夢の湯」の再開を



谷崎 利浩

谷崎 天井が落ちてから半年になるが、借地契約の見直し状況は。お風呂が無い方々もおられ、また、観光の観点からも困っている。冬までには結論を。

荒木まちづくり課長 5月15日を皮切りに4回協議をしましたが、まだ答えは出ていません。早めにと思っていますが、いつまでとは計画しておりません。

佐藤市長 私も何とか早く再開したいと思っております。住民の皆さんからいろいろ困っていると聞いており、十二分に承知しておりますので、今しばらく今の交渉を頑張らせていただければと思います。

谷崎 結論が出るまでは家族湯を活用してはどうか。家族湯には市から給湯などを提供し、経費も発生している。例えば3人で入ると1人266円になるとか、男湯・女湯として2箇所を借り切るとか、冬に間に合うようにしてはどうか。

まちづくり課長 様々なやり方が出てくるかと思いますが、民間の施

設ですので、慎重に検討し改めて協議させて頂きます。

災害時被害を及ぼす恐れのある空き家への対策は

谷崎 台風時、倒木や倒壊の恐れのある空き家について、平成27年3月に質問した空き家等対策の推進に関する特別措置法を踏まえた特定空き家の協議会は開かれたのか。

村山総務課長 この法が施行され準備を進めていましたが、震災が発生し手が及んでいません。まずは空き家等対策計画の策定という準備が必要です。制度上、最終的には行政代執行もありますが、市税を使った対応となれば慎重にならざるを得ませんので、危機感を持って今後取り組んで参ります。



閉館中の夢の湯